

ジ オ



だ よ り



発行所
島原半島ジオパーク
協議会事務局
E-mail
info@unzen-geopark.jp
TEL
0957-65-5540
創刊 2017年12月1日

Facebook
ページでも
配信
中!

豊後大野GPに学べ！ 島農生研修

高校生研究発表大会で最優秀賞に輝いた島原農業高校の生徒が、12月22日、おおいた豊後大野GPを訪問しました。現地ではシイタケ農家や美術館の学芸員、地元産の野菜を用いて地域振興に取り組んでいる方々からお話を伺いました。ジオパーク活動と連携し、地元の産品を用いて、ふるさとを本気で元気にしようとしている人たちの熱い思いに触れ、生徒も先生も強く刺激を受けた



間近に見る迫力満点の滝に、島農生大興奮！
＝おおいた豊後大野GP「原尻の滝」

力作ぞろい



作品に興味津々の子どもたち
＝がまだすドーム

「ジオだより」のメール配信をご希望の方は
info@unzen-geopark.jp
まで、お気軽にお申込みください。

力作ぞろい

姉妹ジオパーク、市民が初訪問

12月8日(土)～10日(月)、島原半島の市民等約30名が姉妹ジオパークである韓国・済州島ユネスコ世界ジオパーク(UJGP)を訪ねました。本取組みは、姉妹ジオパーク提携の再調印を記念し、済州島の住民との交流を通して、両地域の違いを知り、改めて地元の魅力を感じて頂くことを目的に実施しました。



手打ち麺の作り方を見せる地域住民
＝東栢東山



火山が作り出す景観に感動の参加者
＝城山日出峰

ネットワーキングが、地域の魅力

12月15日(土)・16日(日)、テレビ会議システムを活用し、日本ジオパーク認定10周年記念イベントを、「日本橋 長崎館」(長崎県のアンテナショップ)で行いました。関東の方々、島原半島の臨場感ある映像とともに、

萩GP市民来訪

12月17日(月)・18日(火)、9月に認定された山口県萩ジオパークから「ジオの恵みと人々の生活の関わり」をテーマに、萩市弥富地域の市民の皆さんが視察に訪れました。自分たちのジオパークを盛り上げたいという意気込みが凄いです！



島原半島の湧水と生活に関する説明に興味深く聞く弥富地域の皆さん
＝浜の川湧水

楽しんで学んだ『島原防災塾』

12月2日(日)、島原防災塾運営委員会の主催のもと、杉谷地区にて島原市内の小学生とその保護者を対象とした島原防災塾を開催しました。午前中はDr.オーノや地元の方の案内で、定年や旧大野木場小学校をはじめとする平成噴火の被災地を辿り、「当時、この場所では何があったのか」を学びました。午後は、災害時に役立つ身の周りの道具を使った担架作り等の実演、土



土石流模型実験に夢中
＝杉谷公民館

島原半島に「ジオ菓子®」来る！

2月2日(土)第27回「ジオ空教室」は、講師の鈴木美智子さん(伊豆半島ご出身)と一緒に「ジオ菓子®」を作ります！



伝えたいストーリーのもとになる景色を菓子化しました♪
「ジオ空教室」の詳細は、後日ご案内します。

「民話そここパーチャルジオツアー」がDVDに

島原半島の各地に伝わる民話と、その中に隠れたジオ的魅力の解説を通じて、民話をより深く楽しむ「民話そここパーチャルジオツアー」。民間の有志が動画サイト「YouTube」で発信している映像をまとめたDVDと絵葉書が、12月19日(水)、島原半島の3市市長に贈呈されました。全部で19話が収められたDVDは、半島内の図書館で閲覧できます。



南島原市長に贈呈する「民話そここパーチャルジオツアー」製作者の皆様
＝島原市役所

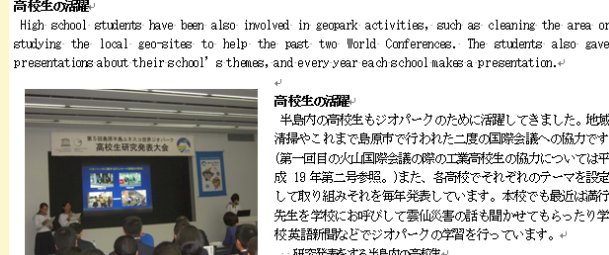
よかとんフォトコン今年も開催！！



※上記の写真は、昨年度の実績です。島原半島ユネスコ世界ジオパークの美しい自然や、島原半島ならではのおいしい食べ物を収めた「ジオ」ジェニックな写真を募集する「島原半島ユネスコ世界ジオパークよかとんフォトコン」を今年も開催します！特典には、豪華宿泊券をご用意しております。みなさんのたくさんのご応募お待ちしております◎
※詳細は、QRコードをご覧ください。

認定ジオガイド、学校新聞にジオ特集！

工業高校に産休代理講師として勤務し、私の編集している英字新聞の裏面に「ジオパーク」特集を掲げ、これまでのジオ国際会議の事や島原半島UGGの変遷などを載せています。学校が、研究発表等をしていませんので英語科として頑張っています。英語教育主眼ですが、ジオの点でも地域に資するものと考えて発行しています。(文・写真:認定ジオガイド&島原工業高校 英語科 教師 永井智さん)



高校生の活躍
半島内の高校生もジオパークのために活躍してきました。地域清掃やこれまで島原市で行われた二度の国際会議への協力です。(第一回目の山形国際会議の際の工業高校生との協力については平成19年第二号参照。)また、各高校でそれぞれのテーマを設定して取り組みを毎年発表しています。本校でも最優秀は高井先生を学級長に呼び出して学級行事の話を聞かせてもらったり学校英語部顧問などでジオパークの学習を行っています。研究発表をする半島内の高校生